



小松ウオール工業株式会社 | 東証プライム 7949

# 2026年3月期第1四半期 決算補足資料

2025年7月24日

■ 2026年3月期1Q 決算概要	.....	3
■ 2026年3月期 業績予想	.....	7

## 2026年3月期1Q実績

- オフィスのリニューアルが引き続き好調でオフィス向けは全品目で増収、トイレブースは学校・体育施設や工場向けが伸長し、売上高は前年同期比4.6%増収
- 付加価値の高い製品の販売増加により売上総利益率も上昇、ベースアップなど人材投資により人件費は増加したものの、営業利益は同36.6%増益
- 受注残もオフィス、学校・体育施設など主要な向け先で増加、品目別でもその他を除き全品目で増加し、全体でも同11.1%の増加

## 2026年3月期予想

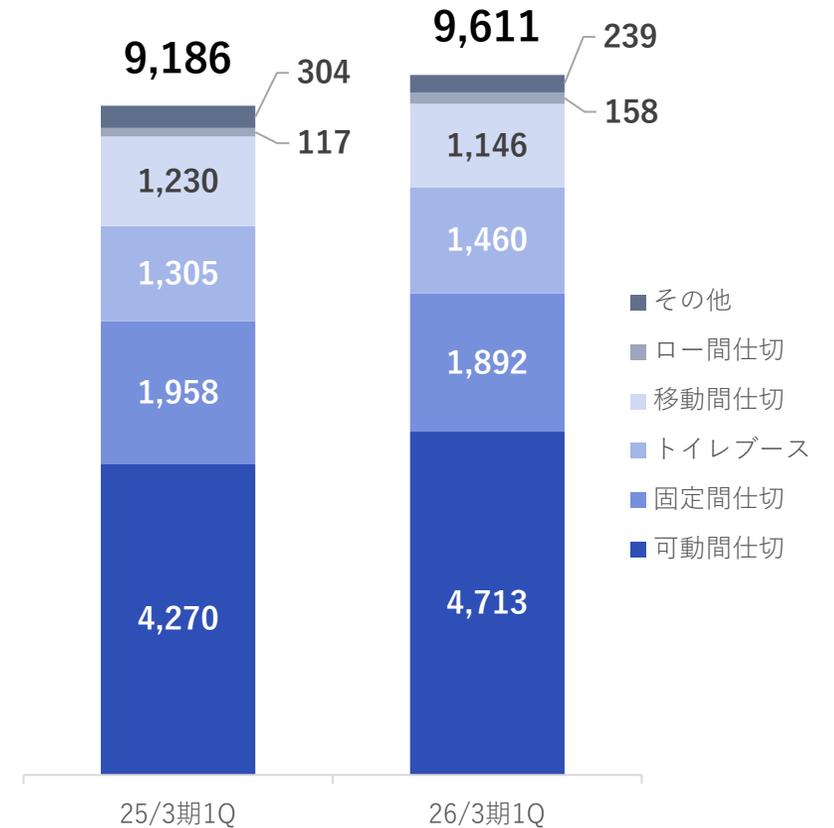
- オフィスのリニューアル需要が引き続き好調、トイレブースや学校向けでもデザイン性に優れた新製品を発売することから、売上高は前期比4.2%増収を予想
- 資材価格や運送費の大幅な上昇は一巡しており、増収を主因に営業利益は11.7%増益を予想

## 株主還元

- 2026年3月期から株主還元方針を変更し、純資産配当率（DOE）6%を目安とした配当へ引き上げ。従来のDOE3.0%下限から配当率を引き上げ
- 上記に基づき、26年3月期は前期比倍増の130円（うち上期65円）への増配を計画

### 売上高

(百万円)



2026年3月期第1四半期 決算補足説明

## 2026年3月期1Q 決算概要

# 決算概要

■ オフィスのリニューアルなどが引き続き好調に推移、文化施設向けの大型案件もあり前年同期比4.6%増収

■ 付加価値の高い製品の販売増加により売上総利益率も上昇、ベースアップなど人材投資により人件費は増加したが、営業利益は同36.6%増益

単位：百万円	2024年3月期1Q		2025年3月期1Q		2026年3月期1Q		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比増減率
売上高	8,908	100.0%	9,186	100.0%	9,611	100.0%	4.6%
売上総利益	2,960	33.2%	3,078	33.5%	3,339	34.7%	8.5%
販管費	2,561	28.7%	2,853	31.1%	3,032	31.5%	6.3%
営業利益	399	4.5%	224	2.4%	306	3.2%	36.6%
経常利益	456	5.1%	236	2.6%	321	3.3%	36.0%
当期純利益	336	3.8%	157	1.7%	216	2.2%	37.7%
1株当たり当期純利益*	18円11銭	—	8円42銭	—	12円31銭	—	46.2%

\* 2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割。1株当たり当期純利益の算出は分割後の株数で遡及修正

## 品目別売上高、受注高及び受注残高

■ オフィスのリニューアルが引き続き好調でオフィス向けは全品目で増収、トイレブースは学校・体育施設、工場向けが伸長

■ 受注残もオフィス、学校・体育施設など主要な向け先で増加、品目別でもその他を除き全品目で増加し、全体でも11.1%の増加

単位：百万円	2025年3月期1Q	2026年3月期1Q					
	売上高	売上高	前年同期比 増減率	受注高	前年同期比 増減率	受注残高	前年同期比 増減率
合計	9,186	<b>9,611</b>	<b>4.6%</b>	12,692	3.2%	<b>21,978</b>	<b>11.1%</b>
└ 可動間仕切	4,270	<b>4,713</b>	<b>10.4%</b>	5,565	2.6%	<b>6,135</b>	<b>17.8%</b>
└ 固定間仕切	1,958	<b>1,892</b>	△3.4%	2,543	△8.2%	<b>6,266</b>	7.4%
└ トイレブース	1,305	<b>1,460</b>	<b>11.9%</b>	2,350	16.6%	<b>4,334</b>	<b>12.6%</b>
└ 移動間仕切	1,230	<b>1,146</b>	△6.8%	1,799	11.8%	<b>4,817</b>	<b>8.6%</b>
└ ロー間仕切	117	<b>158</b>	<b>35.3%</b>	174	29.7%	<b>101</b>	<b>19.9%</b>
└ その他	304	<b>239</b>	△21.4%	259	△23.3%	<b>323</b>	△13.4%

# 貸借対照表

■ 季節性により4-6月期は1-3月期比で減収となり売上債権等や買掛金が減少、新工場に向けた投資により有形固定資産が増加  
 配当の支払いなどで純資産は減少したが、自己資本比率は81.3%と引き続き高い財務安全性を維持

単位：百万円	2024年3月期末	2025年3月期末	2026年3月期1Q末	前期末差
<b>流動資産</b>	<b>32,539</b>	<b>31,322</b>	<b>27,904</b>	<b>△3,418</b>
現預金	17,640	16,714	16,031	△683
売上債権・契約資産	13,615	13,231	10,325	△2,906
棚卸資産	1,123	1,117	1,295	178
<b>固定資産</b>	<b>14,915</b>	<b>15,433</b>	<b>18,085</b>	<b>2,652</b>
有形固定資産	11,767	12,260	15,043	2,783
無形固定資産	385	415	426	11
投資その他の資産	2,763	2,757	2,615	△142
<b>総資産</b>	<b>47,455</b>	<b>46,756</b>	<b>45,990</b>	<b>△766</b>
<b>負債</b>	<b>9,388</b>	<b>8,965</b>	<b>8,622</b>	<b>△343</b>
買掛金	2,350	2,323	1,877	△446
有利子負債	0	0	0	0
<b>純資産</b>	<b>38,067</b>	<b>37,790</b>	<b>37,367</b>	<b>△423</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>47,455</b>	<b>46,756</b>	<b>45,990</b>	<b>△766</b>

2026年3月期第1四半期 決算補足説明

## 2026年3月期 業績予想

# 業績予想

- オフィスのリニューアル需要が引き続き好調、トイレブースや学校向けでもデザイン性に優れた新製品を発売することから、売上高は前期比4.2%増収を予想。資材価格や運送費の大幅な上昇は一巡しており、増収を主因に営業利益は11.7%増益を予想
- 配当方針を純資産配当率（DOE）3%から6%水準に変更、2026年3月期の配当は前期比倍増の130円を予想

単位：百万円	2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期 通期予想		前期比 増減率
売上高	43,551	100%	44,616	100%	46,500	100%	4.2%
営業利益	3,640	8.4%	3,635	8.1%	4,060	8.7%	11.7%
経常利益	3,732	8.6%	3,756	8.4%	4,130	8.9%	10.0%
当期純利益	2,775	6.4%	2,650	5.9%	2,930	6.3%	10.5%
1株当たり利益	149円04銭*		145円64銭*		160円97銭		10.5%
1株当たり配当金	62円50銭**		65円00銭**		130円00銭		100.0%

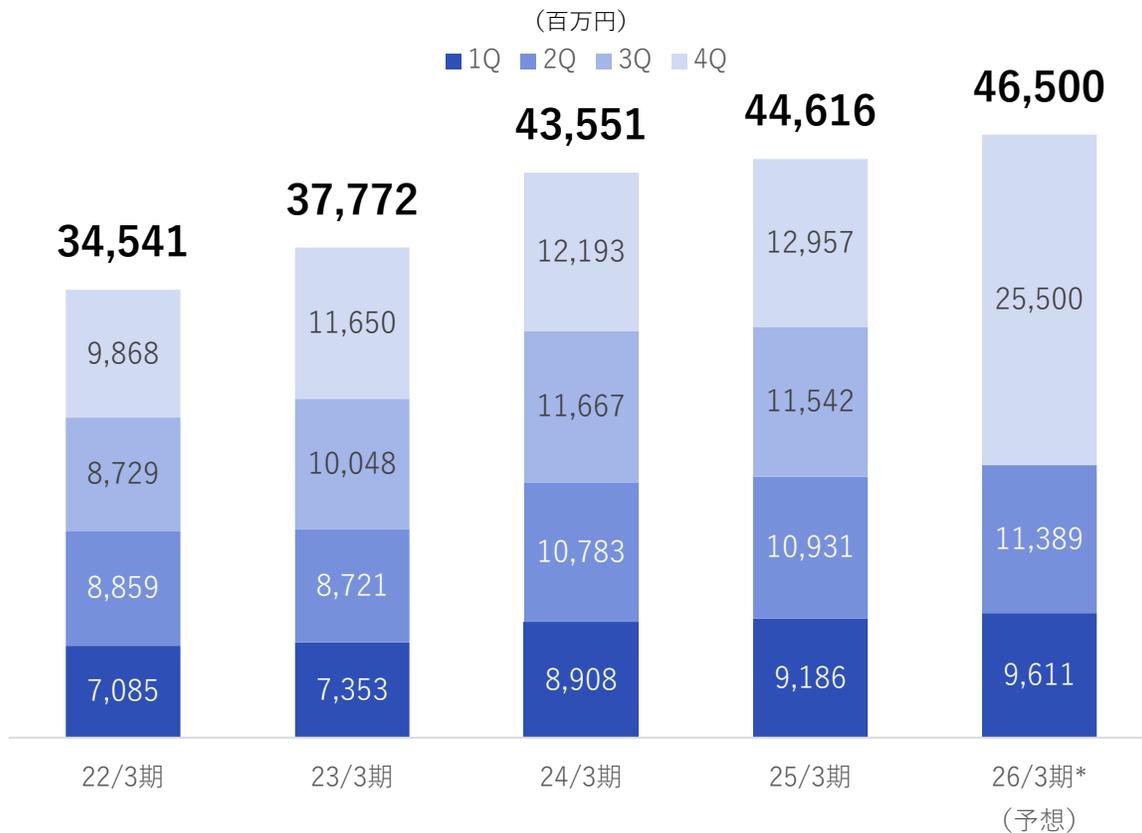
\* 2024年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を実施。1株当たり当期純利益は分割後の株数で算出、過去実績も遡及修正

\*\* 2025年3月期の配当は株式分割後の株数で算出、過去実績も遡及修正

# 四半期業績推移

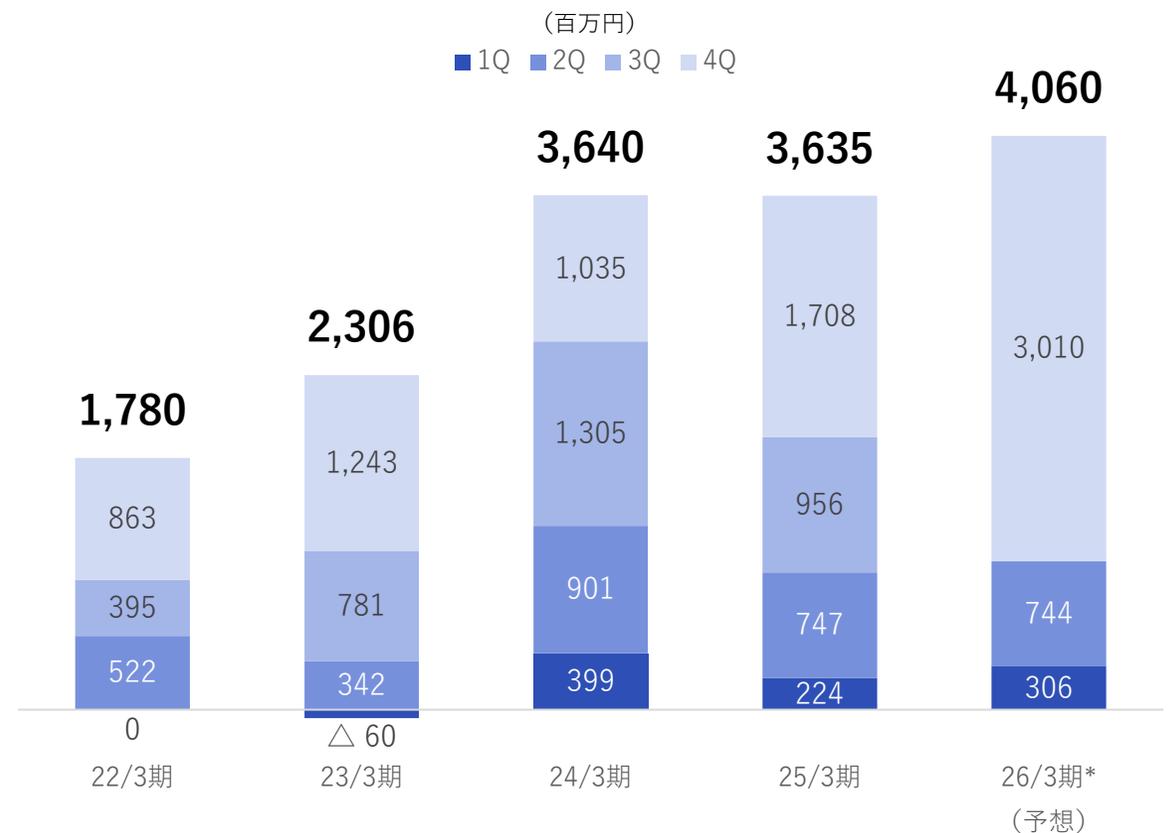
- 2026年3月期1Qの売上高はオフィス向けの好調などから4.6%増収、営業利益はベースアップなど人件費の増加等を吸収し36.6%増益
- 2026年3月期もオフィス向けの好調が続くことを主因に増収を予想、資材価格や物流費の大幅な上昇も一巡しており、営業増益を予想

### 四半期売上高



\* 26/3期2Q累計と通期は当社業績予想値

### 四半期営業利益



\* 26/3期2Q累計と通期は当社業績予想値

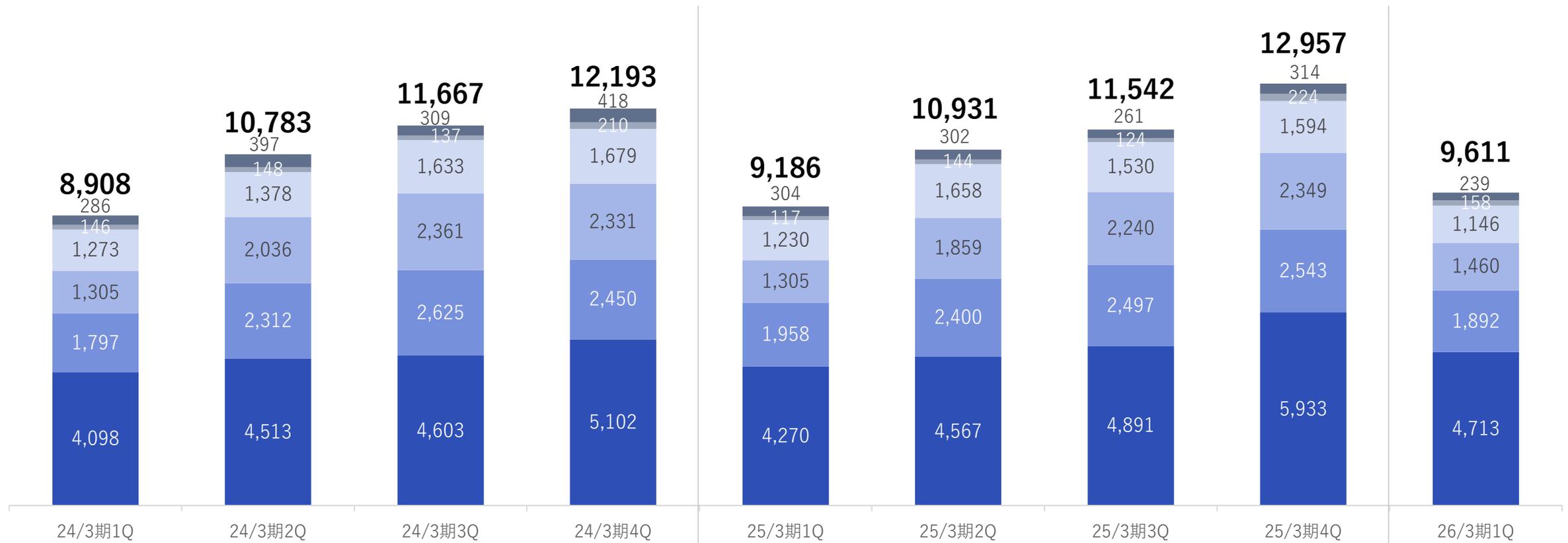
# 四半期品目別売上高推移

■ 2026年3月期1Qはオフィス向け中心に引き続き可動間仕切が好調に推移、トイレブース、ロー間仕切も堅調

## 品目別売上高

(百万円)

■ 可動間仕切 ■ 固定間仕切 ■ トイレブース ■ 移動間仕切 ■ ロー間仕切 ■ その他 合計



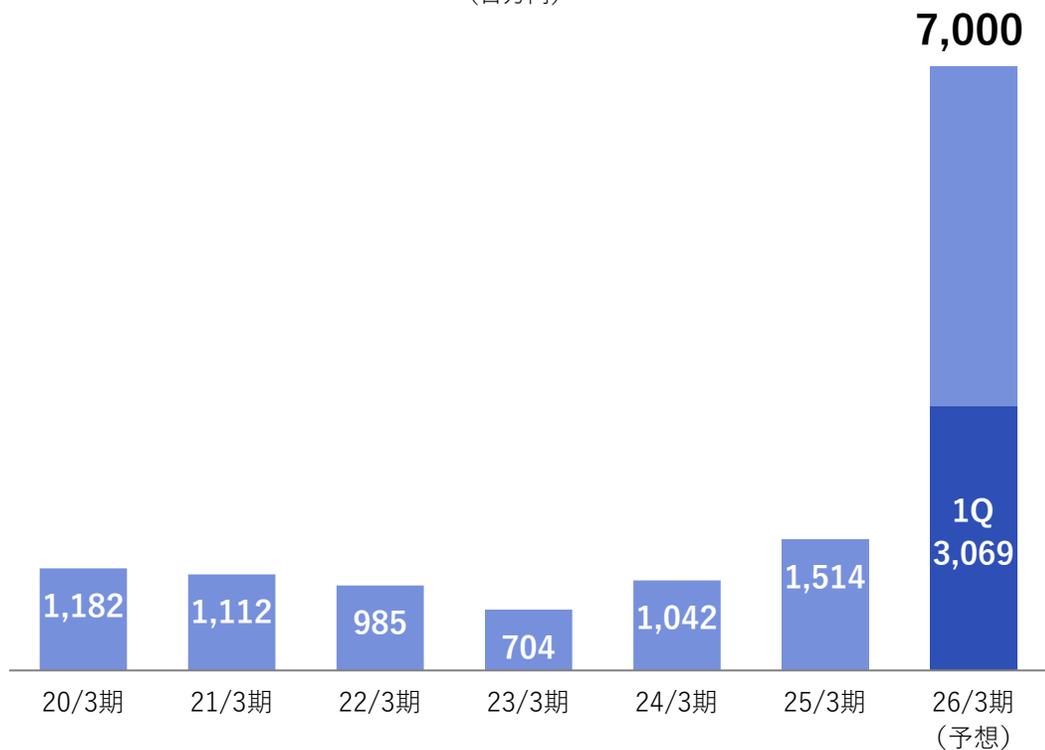
# 設備投資、減価償却費

■ 2026年3月期は加賀工場2号棟建設、名古屋ショールームへの投資等で7,000百万円の設備投資を計画

■ 2026年3月期 1Qは加賀工場2号棟着工に伴う投資等で3,069百万円の設備投資を実施

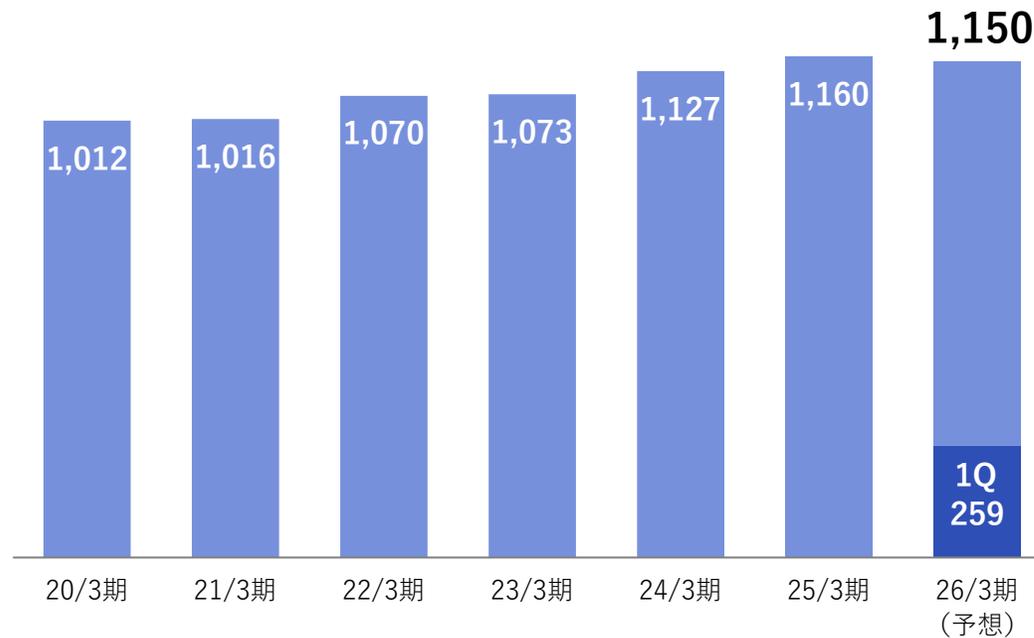
設備投資

(百万円)



減価償却費

(百万円)



## 設備投資 加賀工場2号棟（仮称）

- 2024年4月に加賀工場2号棟（新棟）の建設を公表、第三工場の可動間仕切の一部の生産ラインを移管、オフィス向けなどで需要が大きく伸びている可動間仕切の生産能力を増強。新棟は土地造成を終え、2025年5月から建設開始、2027年5月に操業開始予定
- 中期経営計画期間中（2024年3月期～28年3月期）の設備投資は150億円以上を計画

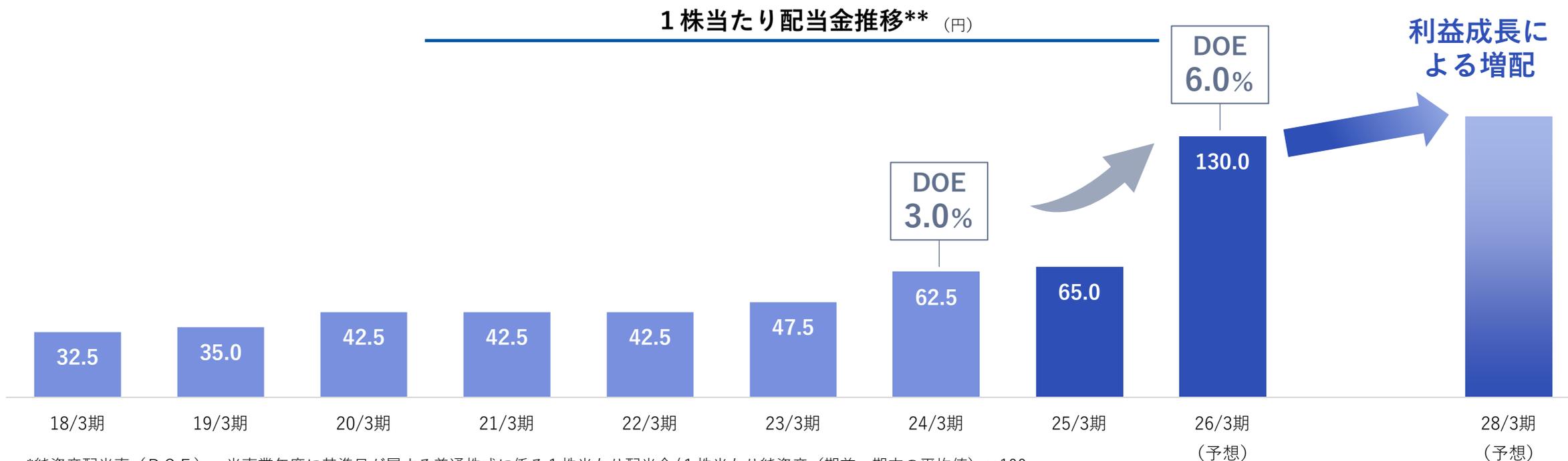
名	称	加賀工場2号棟（仮称）
主	な	事業
事	業	可動間仕切の製造 研究開発
投	資	金額
金	額	約95億円
建	築	面積
面	積	約19,000m <sup>2</sup>
延	床	面積
面	積	約19,700m <sup>2</sup>
建	設	開始年月
開	始	2025年5月
操	業	開始年月
開	始	2027年5月予定



# 株主還元方針

- 2026年3月期から株主還元方針を変更し、純資産配当率（DOE）6%を目安とした配当へ引き上げ。なお、23年4月にはDOE3.0%下限に変更
- 上記方針に基づき、2026年3月期は前期比倍増の130円への増配を計画

純資産配当率\*（DOE）6%を目安とした配当を実施  
 持続的な成長も実現し、配当水準の安定的向上を目指す



\*純資産配当率（DOE）＝当事業年度に基準日が属する普通株式に係る1株当たり配当金/1株当たり純資産（期首・期末の平均値）×100

\*\*2024年10月1日付で1：2の株式分割を実施。過年度の配当金は株式分割後の株数での配当金に遡及修正



小松ウォール工業株式会社 | 東証プライム 7949

お問合せ先

小松ウォール工業株式会社  
社長室

TEL 0761-21-3131(代表)

[https://www.komatsuwall.co.jp/form/form.php?form\\_id=201](https://www.komatsuwall.co.jp/form/form.php?form_id=201)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。